

技術のおたずねにこたえて

【おたずね】

木彫品などの木材の表面を焼いて木目を強調したいのですが、どのようにしたらムラなく焼き上げ、木目を目立たせることができるでしょうか教えてください。（東川 M生）

【おこたえ】

木材表面を炎で直接焼くと、角の部分から焼けたり、強い炎が直接当たった部分が強く焼けるため、ムラになることがあります。そこで、リン酸などの強酸やクロム酸塩などの酸化剤を使って均一にしようという試みがあります。しかし、伝統的にあぶり出しに用いられているみかん汁やカリ

ミョウバンの溶液を塗って、乾かしてから加熱すると比較的容易に均一に焼くことができます。

カリミョウバンの濃度は2~10%が適当ですが、処理方法によって濃度を変えて、全体にはけ塗りするか、浸せきするか、木目に沿って塗ってから乾かして加熱すると均一に焼け、木目が強調されてきます。加熱は熊のような立体的な木彫りの場合などには高圧ガスバーナーで直火で焼きますが、凹凸のあまり大きくない平板の場合は、ガスコンロや電熱器の上に金網又は鉄板を載せて間接的に加熱すると均一に焼けます。加熱後は水をつけ、タワシでこすときれいに仕上がります。あらかじめエンボス加工しておくとも木目が強調されます。

（林産試験場 接着塗装科）